



信頼の置き場

説明しなくても、
任されてしまう人がいる。

同じことを言っても、
残る人と、流れる人がいる。

言葉の問題ではない場面が、
たしかにある。

信頼は、
近さではない。

感じの良さでも、
整っている印象でもない。

積み上げたものの上に、
あとから名前がつくことはある。

けれど、
それを理由に任されるわけではない。

任せるとき、
人は内容を見ていない。

どこまで持っていかれるか。
どこで止まるか。

それだけを、見ている。

引き受けたものが、
どこに戻るのか。

崩れたとき、
誰の中で止まるのか。


任される人は、
その置き場を、先に持っている。

信頼される人は、
信頼を扱わない。

引き受けられる範囲を、
外に見せない。

広げない。
増やさない。
預かりすぎない。

その境界が、
他人の判断を軽くする。

A digital illustration of a stone arch bridge spanning a river. The scene is set during sunset, with a warm, golden light illuminating the sky and reflecting on the water. The bridge is constructed from grey stone blocks and features several large arches. The water in the foreground is dark blue-green, with ripples and reflections of the bridge and the sky. The background shows a dense line of green trees. The overall mood is peaceful and nostalgic. Japanese text is overlaid in the center of the image.

任されたのは、
能力ではなく、
戻る場所だった。



Edition — 存在の芯
別景：信頼の置き場

著者：美学思想家 古川玲奈
発行：Raffiné
2026